

平成 23 年度

ビジットおきなわ計画

—観光客数 1 千万人、観光収入 1 兆円を目指して—



沖縄県文化観光スポーツ部

ビジットおきなわ計画とは

「ビジットおきなわ計画」は、将来の観光客数1千万人、観光収入1兆円を目指し、平成19年度より毎年度策定しているものです。長期計画である「沖縄県観光振興基本計画」や「沖縄県観光振興計画」のもと、単年度ごとの数値目標を設定した具体的な誘客行動計画として位置づけています。

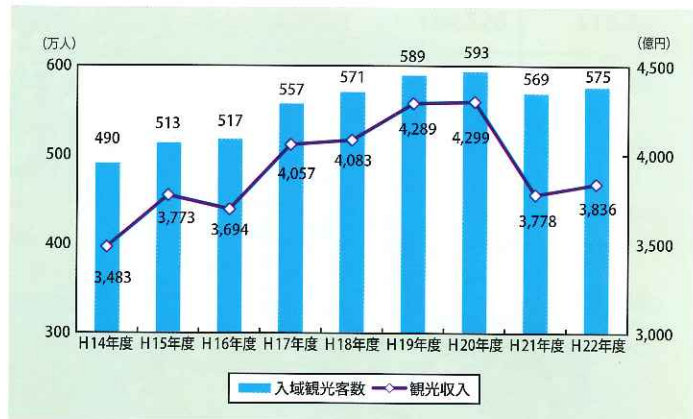
「やっぱりいいね おきなわ」をキャッチフレーズに、戦略的な誘客活動をオール沖縄体制で展開し、沖縄観光のさらなる発展につなげて参ります。

沖縄観光の現況

1. 入域観光客数・観光収入の推移

平成22年度の観光客数は575万人、観光収入は3,836億円と前年度実績を上回る見込み。

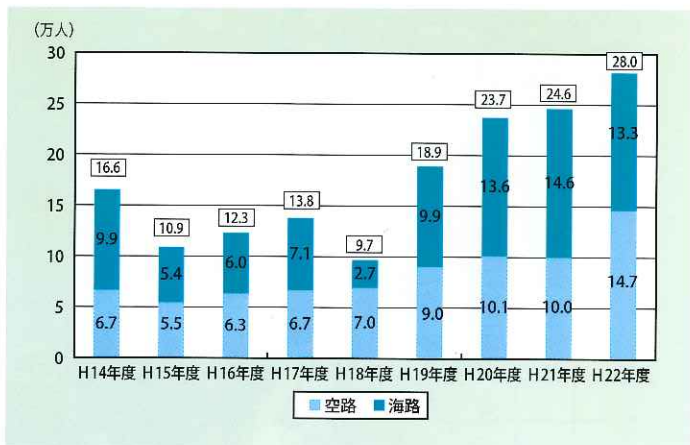
注) H22年度の数値は平成23年3月中旬時点の見込み値



2. 外国人観光客数の推移

平成22年度の外国人観光客数は、過去最高の28万人であった。海路については前年度を下回ったものの、空路では、チャーター便の増加などから前年を大きく上回る見込み。

注) H22年度の数値は平成23年3月中旬時点の見込み値

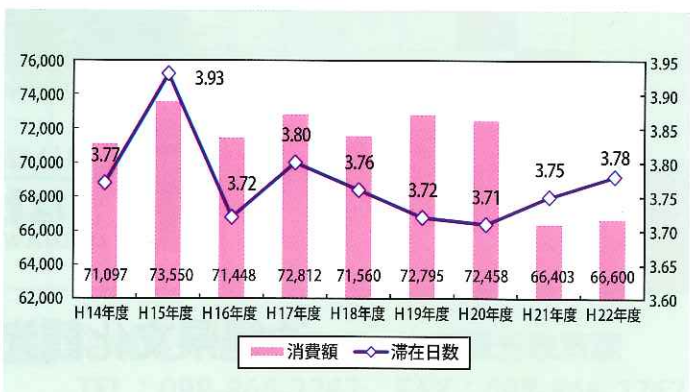


3. 観光客1人当たりの消費額及び平均滞在日数

平成22年度の観光客1人当たり消費額は、6万6,600円の見込み。

平成22年度の観光客の平均滞在日数は、3.78日の見込み。

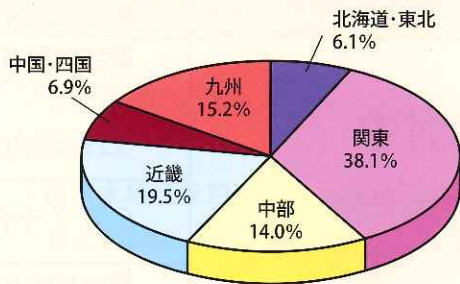
注) H22年度の数値は平成23年3月中旬時点の見込み値



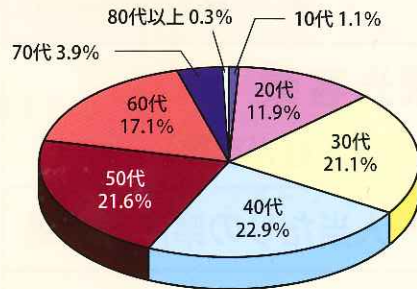
4. 観光客の属性

航空機利用の国内客（修学旅行生を除く）を対象とした沖縄県実施のH21年度アンケート結果による。

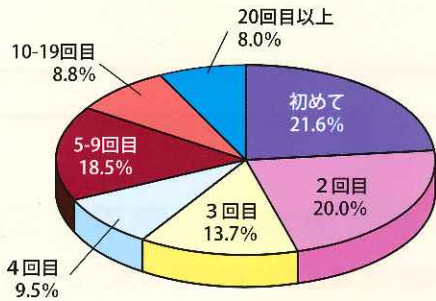
居住地 関東が38.1%で最多



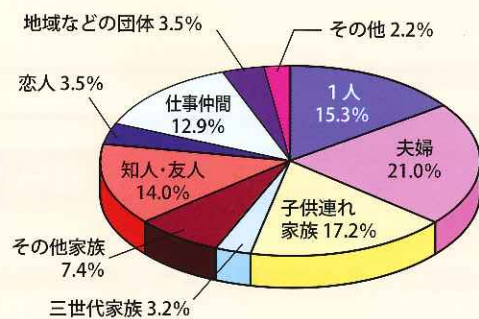
年代 幅広い年代の方が来訪



来訪回数 2回目以上の方（リピーター）が78.4%

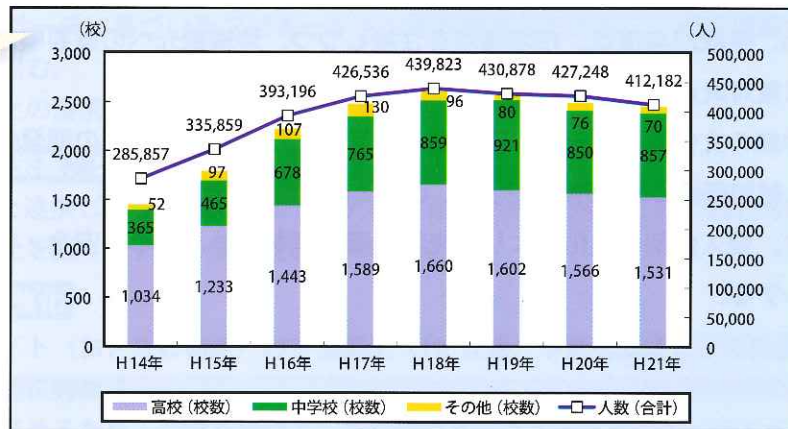


同行者 夫婦・家族連れが48.8%を占めている

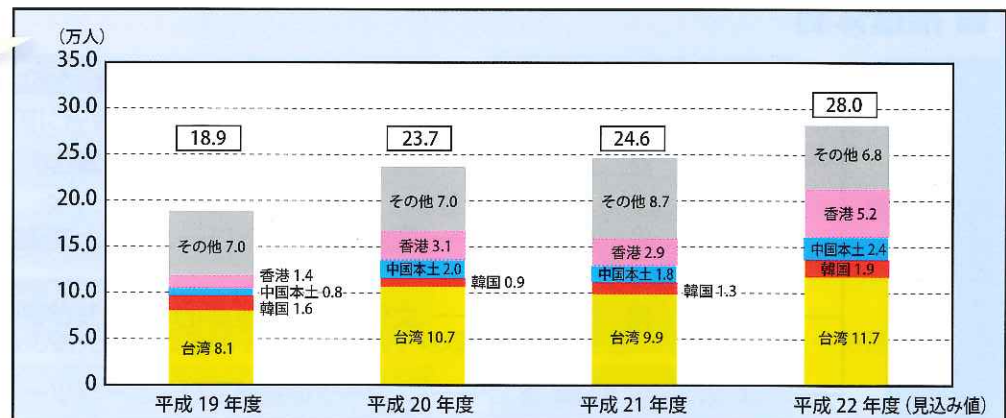


5. 特定市場の動向

沖縄への修学旅行 校数と人数



外国人観光客 国籍別



平成23年度の数値目標と誘客戦略

■ 数値目標

項目	平成23年度 目標値	対平成22年度 見込み値
入域観光客数 (うち外国人観光客数)	検討中 (東北地方太平洋沖地震に伴う 影響を考慮し、今後設定する)	575万人 (28万人)
観光客一人当たりの県内消費額		6万7千円
観光収入		3,836億円

*今年度は4半期ごとに「人泊数」の暫定値を発表し、同指標の24年度からの目標値としての採用を検討する。

■ 誘客戦略

平成23年度の市場環境と誘客戦略の基本方向

- 東北地方太平洋沖地震に伴う災害の影響から、国内・海外市場ともに観光客の減少が見込まれる。
- また、平成22年度の後半から、円高や羽田空港の国際化に伴う海外との競合など、沖縄観光を取り巻く環境は、厳しい状況となっている。
- そのため、平成23年度は、市場環境を注視しつつ、沖縄観光への需要喚起を図るため、「沖縄観光特別緊急対策」を実施する。
- 更に、沖縄の文化やスポーツ、医療などを活用した観光メニューの開発促進や、離島観光の推進により、付加価値の高い沖縄旅行として発信し、誘客を図っていく。
- 引き続き、受入体制の強化により観光客の満足度を高め、安心・安全・快適な観光地「沖縄」をアピールする。

■ 推進体制



沖縄観光特別緊急対策

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う災害により、沖縄観光への影響が懸念されるため、緊急対策を講じ、国内外における沖縄観光の需要喚起を図る。

(1) 県内対策

- ・官民連携によるキャンペーンにより、県民需要を喚起する。

(2) 国内対策

- ・西日本地区を対象にした誘客プロモーションやイベントでのタイアップキャンペーンを実施するとともに、メディアを活用した情報発信を行う。

(3) 海外対策

- ・各国の日本への渡航自粛勧告の緩和・解除に繋がるような取組を実施するよう国に対して要請する。
- ・重点市場等の海外有力メディアを招へいし、沖縄の現状についての情報を発信する。

平成23年度の主な施策展開

戦略 1 外国人観光客誘致の強化

1. 重点地域（台湾・韓国・中国・香港）のプロモーション強化

- ①マーケティングリサーチに基づいたプロモーションを実施するとともに、航空路線の拡充やチャーター便誘致に取り組む。
- ②国際航空物流事業との連携を図り沖縄観光 PR に努める。

2. 海外新規市場（欧米豪、ロシア、東南アジアなど）の開拓

JNTO 海外事務所と連携し、現地旅行会社やメディア招聘、現地で開催される旅行博覧会などを通して沖縄の認知度の向上を図り、チャーター便誘致に取り組む。

3. 海外への情報発信強化

- ①観光情報ウェブサイト（おきなわ物語）の多言語化（10 言語）や動画配信などの機能強化を図り、沖縄観光の魅力発信に努める。
- ②海外での認知度を高めるため、沖縄を題材とした映画やドラマなどのエンターテインメント制作を支援する。

4. 海外ネットワークの活用

- ①台湾、香港、上海、韓国に配置している（財）沖縄県産業振興公社や（財）沖縄観光コンベンションビューロー海外事務所を活用し誘客活動の強化を図る。
- ②中国（北京、成都）、タイ、シンガポール、フランスに配置している委託駐在員を活用し、情報発信及び関係業界との連携を強化する。

5. 新たな観光メニューの創出

中国や韓国などからの観光客誘致を図るため、民間や地域が行う着地型観光旅行メニューの開発等を支援する。

戦略2 付加価値の高い旅行の促進

1. 修学旅行の誘致強化

- ①新たな修学旅行プログラム開発を促進するとともに、県外・海外における誘致活動を強化する。
- ②沖縄の民泊に対する信頼を確立し、修学旅行の積極的な誘致に繋げるため、「民泊ガイドライン」を早期に策定し、県内外の関係者に対する普及を図る。

2. 滞在型観光の推進

- ①自然や文化などの地域資源を活用した体験滞在型観光メニューの開発を促進するとともに、シニア層などをターゲットとした情報発信に努める。
- ②スパ、エステ、検診やリハビリなど健康・医療サービスを観光資源として活用し、長期滞在市場及び国際観光市場の開拓を図る。
- ③離島を組み合わせた観光メニューの開発を促進し、情報発信を強化する。

3. MICE誘致の強化

- ①国内外において誘致セミナーを開催するとともに、県内関係企業等と連携し MICE コンテンツトレードショーを開催する。
- ②国や関係機関と連携を図り国際会議の誘致を強化するとともに、集客効果の高いスポーツイベントを誘致する。

4. エコツーリズムの拡充

エコツアー情報発信ウェブサイト「urumaDo(うるまの窓)」を活用した情報発信強化やサンゴの植え付けなどの環境共生型メニューの開発を促進する。

5. リゾートウエディングの拡充

アニバーサリーウエディングや海外からのウエディングの誘致を推進し、沖縄リゾートウエディングのブランド力を強化する。

戦略3 新規市場の開拓

1. 「Happy アイランド沖縄」キャンペーンの展開～記念日は沖縄で

大切な記念日を沖縄で過ごしていただく「Happy アイランド沖縄」キャンペーンを官民一体となって推進する。

2. 魅力あるイベントの拡充

- ①「全国エイサー大会」の拡充や、「沖縄国際アジア音楽祭」、「沖縄国際映画祭」などのイベントを支援するとともに、沖縄の芸能・文化を活用したイベントの情報発信に努める。
- ②第5回世界のウチナーンチュ大会を支援するとともに沖縄の海外ネットワークを活用した沖縄観光の魅力発信に努める。

3. 沖縄の特性を活かした新しい観光資源の活用

- ①独自性の高い文化・芸能等の観光資源を活用した観光メニューの開発促進及び情報発信に努め、新たな市場開拓を図る。
- ②スパ、エステ、検診やリハビリなど健康・医療サービスを観光資源として活用し、長期滞在市場及び国際観光市場の開拓を図る。(再掲)
- ③国内外における映画やドラマの放映等による誘客効果を創出するため、沖縄でのロケを積極的に誘致するとともに、受入市町村等と連携してロケ地ツアーメニューの開発を促進し新たな市場開拓を図る。

戦略 4

受入体制強化による満足度の向上

1. 外国人観光客受入体制の強化

- ①県内主要地における外国語表記（道路、空港、港湾等）を整備するとともに、「安心・安全ガイドブック」を作成・普及し、受入体制整備を促進する。
- ②外国人観光客に適切に対応するため、通訳案内士等の拡充を図るとともに、観光業界を対象とした「外客受入基礎セミナー」を開催する。
- ③外国語・外国文化に精通したアドバイザーを養成・派遣し、観光施設等における接客方法、外国語表示などについてアドバイスする。
- ④外国人観光客の利便性向上を図るため、スマートフォンによる多言語情報案内とコンタクトセンターを活用した情報発信を強化する。

2. ホスピタリティ力の向上

- ①「めんそーれ沖縄県民運動推進協議会」が取り組むクリーンアップキャンペーンや「かりゆしウエア」普及による沖縄カラーの演出など県民一体となった受入体制を強化する。
- ②OCVB 観光人材育成センターを活用したセミナー開催により観光人材育成・活用に取り組むとともに、県民の観光に対する理解を深めるため小学校等での観光教育を推進する。

3. 安心・安全・快適な観光地の形成

- ①災害時の対応や海の危険生物情報などを記載した安心・安全・快適パンフレットを作成・配布する。
- ②沖縄バリアフリーツアーセンター等との協働による高齢者や障害者の観光のコーディネート機能の強化を図る。
- ③ダイビングについての「安全対策マニュアル」を普及・啓発し、沖縄ダイビングのブランド化を推進する。

4. 環境共生型観光地づくりの推進

- ①環境と共生する観光地づくりを推進するため、市町村が取り組む利用ガイドラインの策定や、エコトイレ、駐車場などの整備を支援する。
- ②地産地消の取組や電気自動車の導入など、観光業界の環境経営に対する取り組みを支援するため、取り組み指針を策定し普及を図る。

5. 観光まちづくりの支援

- ①市町村が中心となって取り組む地域資源を活用した「観光まちづくり」の取り組みを支援する。
- ②離島観光振興会議（宮古、八重山、久米島）を開催し、離島における観光振興を支援する。

第5回 世界のウチナーンチュ大会

1. 大会目的

「世界のウチナーンチュ大会」は、世界各地に在住している県系人、県人会等とのネットワークを構築し、ネットワークのさらなる拡充と発展を目的として、これまで4回実施してきました。第5回大会では、新たに「沖縄21世紀ビジョン」に謳われる「世界に開かれた交流と共生の島」の実現や、世界30カ国3地域に広がるウチナーネットワーク、ウチナーアイデンティティを次世代に継承することなどを目的に開催します。

2. 開催日程

大会期間：平成23年10月12日(水)～16日(日)
※ 10月12日(水)は国際通りにて前夜祭パレード

3. 主な会場

沖縄セルラースタジアム那覇エリア、沖縄コンベンションセンターエリア

4. 大会参加者

海外参加者：約5,000人 国内参加者：約500人 延べ入場者数：約35万人



第5回 世界のウチナーンチュ大会

平成23年度の沖縄県観光関連予算

平成23年度の沖縄県観光関連当初予算（観光費）は約19億219万円となっている。

（単位：千円）

	平成22年度	平成23年度	
	当初予算額	当初予算額	対前年度比
沖縄県全体の当初予算額	605,463,000	608,189,000	100.5%
観光関連予算（合計）	1,453,814	1,902,185	130.8%
①観光客の誘致促進を図るために必要な経費	516,112	887,991	172.1%
②観光統計・調査、計画策定、関係機関との連絡調整等に要する経費	112,260	180,175	160.5%
③観光客の受入体制の整備等に要する経費	338,552	384,520	113.6%
④沖縄観光コンベンションビューロー運営に必要な経費	170,734	135,380	79.3%
⑤沖縄コンベンションセンター・万国津梁館の管理運営等及び各種コンベンション誘致・支援に要する経費	307,311	302,585	98.5%
⑥その他	8,845	11,534	130.4%

※当初予算額であり、補正予算は含まれていない。

※23年度予算には、22年度予算からの繰越として、①の経費に2億1千820万円、⑤の経費に4千万円が加算される予定である。

平成23年度の主な観光関連イベント

*平成23年3月中旬時点で予定されているものです

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
琉球海炎祭2011	■											
トライアスロン（石垣島、宮古島）	■											
那覇ハーリー		■										
ハーリー（糸満、屋慶名など各地）			■									
海洋博公園サマーフェスティバル2011				■								
一万人のエイサーおどり隊					■							
沖縄全島エイサー祭り、青年ふるさとエイサーまつり					■							
第18回首里城公演「中秋の宴」（仮称）						■						
那覇大綱挽							■					
第5回世界のウチナーンチュ大会							■					
2011全国エイサー大会							■					
第46回琉球王朝祭り首里								■				
ツール・ド・おきなわ2011								■				
第27回NAHAマラソン									■			
美ら島オキナワCenturyRun2012										■		
沖縄3大桜祭り											■	
プロ野球春季キャンプ、プロサッカー冬季キャンプ												■
「三線の日（3月4日）」、「サンゴの日（3月5日）」等												■
沖縄国際アジア音楽祭 musix2012												■
第4回沖縄国際映画祭												■